

完了報告書（平成 23 年度）

提出者 柳原 剛司

提出年月日 2012 年 3 月 28 日

【プロジェクト名】

和文

ハンガリーにおける福祉レジームの変容：雇用政策と社会的包摂政策の観点から

英文

The transformation of welfare regime in Hungary: from the aspects of the employment and inclusion policy

【メンバー構成】

研究代表者 柳原剛司

幹事

メンバー 柳原剛司

【ねらいと目的】（600 字程度）

本研究では、世界金融危機後の時期も視野にいれて、雇用政策と社会的保護・社会的包摂政策、とくに労働市場への参入政策に着目し、これらの分野における政策の変化から、近年のハンガリーの福祉レジームの変化を明らかにすることを目的とした。雇用政策と社会的包摂政策を中心にすることで、従来進めてきた年金分野での研究を補完し、(所得保障面での) 社会保障制度の全体を視野に入れて福祉レジームを論じられるという目論見であった。

福祉レジーム論については、2000 年前後から議論が活発となり多くの研究成果が発表されたが、基本的には先進資本主義諸国について論じるものであった。旧社会主義国のハンガリーにおいては先行研究も豊富ではなく、また世界金融危機まで視野に入れて論じられてはいない。その意味において、比較福祉レジーム論の展開も見据えつつ、近年のハンガリーにおける福祉レジームの変容を論じることは、他の多くの社会政策・社会保障に関する研究とともに、本 GCOE のテーマであるアジアにおける「親密圏と公共圏の再編成」の諸研究に対し、一つの事例研究の提供として貢献できるというねらいがあった。

【活動の記録】

研究会・ワークショップの場合は、開催年月日、報告者と報告題等

調査の場合は、調査年月日、調査者、調査地、調査目的等

その他の活動も含めて、研究期間中の活動について簡潔に記してください。

学会報告

柳原剛司「ハンガリーの福祉レジームの変容：雇用・社会的保護政策の動向から」社会政策学会、2011 年 10 月 8 日（於：京都大学）

論文

柳原剛司「EU 新規加盟国の雇用政策の変容：ハンガリー」、福原宏幸・中村健吾編著『欧州福祉モデルの 21 世紀（仮）』昭和堂、2012 年刊行予定

【成果の概要】 (800 字程度)

「世界金融危機後の時期も視野にいれて、雇用政策と社会的保護・社会的包摂政策、とくに労働市場への参入政策に着目し、これらの分野における政策の変化から、近年、ハンガリーの福祉レジームがどのように変化しているのか明らかにする」という研究課題に対して、残念ながら実地での調査等は今年度は実施できなかったが、制度の変更や政府による諸プログラムの分析、統計・調査データからの二次的な分析により、ハンガリーにおいても EU 加盟達成後の 2005 年ごろより、他の多くの EU 加盟国と同様の「福祉から就労へ」と言えるような傾向が見られることを明らかにできた。また、本研究にあたっては、イタリア、フランス、ドイツ、イギリス、オランダ、デンマーク、スウェーデン、EU などの社会政策・社会保障の動向をそれぞれ専門とする研究者との活発な議論の機会を定期的に得ることができた。議論を通じて得た知見・人脈は、旧社会主義国研究を主な基盤とする報告者にとっては大きな財産となった。

成果発表の形態としては、当初の予定（比較経済体制学会での発表＋和文・英文の 2 本の論文）には及ばない形となり、社会政策学会での報告および日本語での分担執筆論文となった。後者については、2012 年春ごろに出版予定の福原宏幸氏（大阪市立大学）・中村健吾氏（大阪市立大学）共編『欧州福祉モデルの 21 世紀：活性化と社会的包摂』（仮題）に収録される論文として、すでに完成稿を提出済みである。

成果論文では、ユーロ危機波及の主要因ともなったハンガリー経済が近年抱えている問題点と、資本主義の多様性論（VoC）や福祉レジーム論におけるハンガリーの位置づけを明らかにした上で、体制転換以降の雇用政策の動向を中心に論じている。そして 2005 年秋以降、「寛大な給付の削減・廃止と、制裁をともなう労働市場への復帰・包摂」をめざした改革の流れがはじまっていること、および 2009 年の経済危機以降の不況期も、2010 年の中道右派のフィデスが主導する政権への交代以後も基本的にそれが変化していないことを示した。旧社会主義体制から引き継いだ福祉国家の性格が消えたとはいえ福祉レジームが完全に新自由主義的なものへと変容したと評価することはできないものの、危機の中で「福祉から就労へ」という方向にむかった強い動きが作用していることを指摘した。

【通信欄】

(研究代表者記入)

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 次世代 <input checked="" type="checkbox"/> 次世代ユニット <input type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究
経費	予算額 150 (千円) 実績額 149.978 (千円)



ブダペシュトのセール=カールマン（旧名モスクワ）広場。

日雇い労働者・不法労働者が仕事を求めて集まる場所の一つである